

放課後等デイサービス（ リノ ） 事業所評価結果（スタッフ）

配布数

6

回収数

6

回収率

100

%

4

年度

（評価実施日：令和 5年 4月）

		チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない(わからない)	課題や工夫している点について
環境・体制整備	①	活動スペース等、十分に確保されているか	2	1	3	物の配置によっては狭くなる場合がある。カメハウスを使用するなど活動場所の分散を行い、スペースの確保を行った。
	②	設備等にバリアフリー化の配慮が適正になされているか	2	2	2	扉が狭い、車イスが通るのがギリギリな箇所がある。荷物を置く場所が不便。段差にスロープを付ける工夫をし、手すりや段差解消のマットをしているが室内改善の余地はまだある。駐車場周辺の段差に気を配り活動を行っている。
	③	職員の配置数は適切であるか	4		2	送迎時や分散活動等の時間帯により職員数が足りない場合があるが、利用者状況に応じて対応策方法や対応職員を調整し、十分な配置が取れている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が意識して取り組んでいるか	4		2	昼の打合せ・終礼・会議等で振り返りを行い、改善点・意見を発信する機会を十分に設けているが、状況により昼の打合せが実施されない場合もあつ
	⑤	保護者向けの評価表の活用等によりアンケートを実施し保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	5		1	事業所評価を毎年実施し、保護者からの要望・意見に応えられるよう反映に努めている。
	⑥	自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5		1	HP上で公開。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2		4	相談員が利用者の様子を定期的に見に来てくれている。現在は実施していない。
	⑧	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5		1	コロナ渦で機会は少ないが、オンライン研修等を積極的に行っており勉強になっている。祝日、全体会で研修の機会を設け法人として、事業所としての研修勉強会も行っている。
	⑨	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4		2	年に1回サポートブックやそだちの記録をもとに状況を把握。
	⑩	アセスメントを適正に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか	5		1	サポートブックや個別支援計画作成時に年2回のアンケートを取り、保護者の思い、ニーズの把握。子ども達へも直接頑張りたいことを聞き取り情報の共有。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			必ず行っているが、準備の段階でかなり凝っている活動があり、準備が少し大変である。毎月予定表や活動計画立案の際は職員の意見を出し合い、利用者のニーズを反映。年度末には活動の振り返り、改善策を出している。
	⑫	活動プログラムが固定化されすぎないよう、工夫しているか	6			同じ活動があっても、内容・職員・利用者の役割・曜日等で変化させている。子ども達のやりたいことを活動にしているが、特に夏休みの活動は利用者の意見を事前に確認し、取り入れている。

適切な支援の提供	⑬	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			打合せ、終礼等で役割・動きの確認を毎日行っており、記載したものを目に付く場所に貼り確認できるようにしている。全員で行えない場合でも、表示されているので助かる。打合せ時間は決めて行っているが、状況により全員参加は難しい。
	⑭	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	6			終礼にて1日の振り返りを実施。利用者状況の把握と共有。終了10分前までには参加を心掛けている。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて個別支援計画を作成しているか	5		1	利用者の特性やニーズ、頑張りたいと言ってくれたことに応じて個別・集団の活動をバランス良く実施を心掛けている。無理のない支援内容を計画し少しずつレベルアップを図る。集団活動は曜日により難しい場合がある。
	⑯	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	5		1	長期休み用のプログラムを取り入れ活動を行っている。
	⑰	日々の活動の様子や支援内容、個人の状況など、記録を取ることを徹底し、報告・支援の検証・改善につなげているか	5		1	毎日の連絡帳、全体通達記録にて日々の様子を記載し、振り返りにて職員間で共有。
	⑱	定期的なモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4		2	必要に応じ個別支援計画書作成時に職員間で話し合い、支援の変更等の方向性について話し合っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか (自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動・地域交流の機会の提供・余暇の提供)	5		1	活動に偏りがないようバランスを心掛けており、創作・外活動・生活スキル・など個人・集団活動を利用者の状況にあわせ設定。
関係機関や保護者との連携	⑳	相談支援事業所のサービス担当者会議やモニタリングには、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が、参画しているか	5		1	現場のリーダーが出席している。モニタリングや会議の際には関わりが多い職員から聞き取りを行ったうえで会議に臨んでいる。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4		2	下校時刻や送迎時間の変更については、電話やFAXで連絡調整。送迎時に学校での様子を聞くように努めている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、主治医等との連絡体制を整えているか	3		3	家庭を通じて共有また母が事業所へ同行しレクチャーを行っている。対象者なし。
	㉓	就学前に利用していた保育園や幼稚園児童発達支援事業所との間で、情報共有と相互理解に努めているか	5		1	引継ぎ資料を作成し、会議や様子伺いを行い情報共有。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報の提供を行っているか	5		1	情報提供の為の引継ぎ資料作成と提供。担当者で移行会議の実施。
	㉕	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか	4		2	現在は実施されていないが、以前は発達支援センターによる外部評価が実施されていた。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	2	2	コロナ渦で現在は未実施。長期休み時など、地域の公園や施設へ行った際に交流が持てた。
㉗	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	5		1	子ども部会・教育支援部会・生活支援部会等、管理者が出席。	

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		1	日々の連絡帳、お迎え時に利用者の様子や課題をお伝えしている。密に情報共有をし、困り感が強い場合リーダーが直接対応。	
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	5		1	年2回のペアレントプログラムと、実施後のフォローアップを行っている。	
	保護者への説明等	㉓	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		1	契約時に説明を行っている。
		㉔	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		1	随時、電話や懇談の機会を設けており、送迎時や保護者迎えの時間に相談を受ける機会がある。常に受け身になり共感し、悩みに対し一緒に考えている。
		㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4		2	ペアレントプログラム、保護者会を開催し、保護者間の交流の機会を設けている。
		㉖	子どもや保護者からの相談や申し入れ等に対し、対応体制を整備（相談窓口の設置や周知）し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		1	必要に応じ面談を行っている。懇談の機会は常に設け要望に応えられるよう努め、意見や相談の対応は迅速に行っている。
		㉗	定期的に広報誌やホームページ、メールやお知らせ等を通じて、活動の概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に発信しているか	5		1	活動写真や毎月の予定等をEメールにして保護者へ情報を発信している。連絡帳でも活動内容は伝えている。
		㉘	個人情報等に十分注意しているか (適切な説明・対応・管理をしている)	6			契約時に個人情報の取り扱いの同意を得ており、随時保護者への確認を行っている。子ども達の手の届かず、職員しか入れない場所へ保管し十分に配慮と注意を行っている。
㉙		障がいのある子どもや保護者との意志の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		1	特性やご家族の状況に応じ伝え方の工夫を1人1人行い、保護者の立場を意識している。	
	㉚	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	1	3	コロナ禍により参加の機会はほぼなかったが、啓発デー等地域への啓発の取り組みには参加している。自閉症啓発デーには地域店にオーナメントの配布。今年度は本宮夏祭りによさこいチームで参加。なごみ太鼓でのイベントへの参加。	
緊急時の対応	㉛	緊急時対応、防犯、感染症対応など、必要なルールやマニュアルを策定し、スタッフや保護者に周知するとともに、訓練や研修等を実施しているか	5		1	避難訓練や衛生講座等の計画を作成し、事業所で全職員が実施している。また、感染症対策についてはEメール・ラインにて職員、保護者に対し随時連絡を取っている。	
	㉜	定期的に避難訓練等を行っている (避難訓練の実施について知っている)	6			避難時のルールや防災グッズなどについて学ぶ機会を毎月定期的実施しており、保護者へも実施を伝えている。	
	㉝	虐待を防止するため、スタッフの研修機会の確保等、適切な対応をしているか	5		1	虐待防止マニュアルを作成し、動画やマニュアルを用いて対応策の学習。専用の会議を設定し、定期的に検証を行っている。GSK会議の実施により虐待について考える機会が設けられている。日々の支援で不明・不安な場合は終礼にて共有。	
	㉞	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、保護者からの同意を得る仕組みを整備しているか	5		1	会議で検証した事例をもとにして、身体拘束や行動制限を明確に分類を行い保護者へ説明同意を得ている。切迫性・非代替性・一時性の3つの要件等。	

	④②	食物アレルギーのある子どもについて 医師の指示書に基づく対応をしているか	5		1	保護者へ健康調査票を渡し、それをもとにアレルギー一覧の作成。アレルギーのある子への対応を話し合い情報の共有。おやつや調理活動の際気を付けている。
	④③	ヒヤリハット事例集を作成し、事業所内で共有しているか	6			会議・終礼時に事例を共有し、レポートを作成し共有と改善。
満足度	④④	子ども達は、通うことを楽しみにしている と思いますか	6			子ども達が最後は笑顔で帰れるよう、自分なりに全力で関わっている。毎回、今日の活動を聞いてきてくれる。保護者からの連絡帳の記載に「楽しい活動を沢山ありがとう」と記載があり嬉しかった。子ども達の笑顔や、実際の「楽しい！」の声から感じられる。
	④⑤	この仕事にやりがいを感じ、日々の 支援に満足していますか	5		1	やりがいはあるが、支援に終わりはないので常に改善と、更なる支援向上に取り組んでいる。充実した日々で仕事ができている。子ども達の成長を感じることがやりがい。子ども達の話や聞くと、働いていてよかったと思えるエピソードがあった。これほど利用者や保護者の将来を見据えたサービスを行っている事業所に少しでも関わる事はやりがいを感じている。
	④⑥	法人・事業所は、サービスの質の向上を 目指し、努力していますか	6			必要に応じ会議を設置し、職員間で問題や課題の解決の取り組みを行い、必要な物や子ども達の意見を聞いてさらなる向上に繋げている。また明日も来たいと思ってもらえるように努力している。